

宇治市・舞鶴市の靖国神社遺児参拝

一九五〇年代の靖国神社遺児参拝の実像（9）

松岡 勲

はじめに

前々回の連載（本誌第三七号）で一九五〇年代の京都市の靖国神社遺児参拝について述べましたが、その調査の過程で一九五八年以降に宇治市・舞鶴市・綾部市・福知山市が四市連合で靖国神社遺児参拝を行っていたことを知りました。今回は宇治市の場合を中心に舞鶴市の遺児参拝も加え、その調査結果をまとめます。

宇治市の靖国神社遺児参拝

宇治市での一九五〇年代の靖国神社遺児参拝を調べるために宇治市役所、宇治市歴史資料館、地方新聞社の洛南タイムズ社、京都新聞社文化センターを訪ねました。結局、宇治市の広報紙「宇治市政だより」と京都新聞山城版しか資料は残っていませんでした。特に「宇治市政だより」は一九五一年一二月の創刊号より現在までアーカイブで見ることができ、大変便利でした。京都新聞社文化センターには四度訪ね、マイクロフィルムの検索をしました。明らかにった五〇年代の遺児参拝は次の通りです。

〈「宇治市政だより」を中心に〉

一九五二年にサンフランシスコ講和条約が発効しました。その記念事業の一環として全国的に行われた靖国神社遺児参拝は、宇治市も同様に一九五二年から始まっています。一九五二年度には一月と三月の二回行われました。参拝は「府遺児靖国神社参拝旅行」となっています。京都市の遺児参拝調査の折りに、京都府総合資料館で京都府の遺児参拝事業も調べましたが、文献は出てきませんでした。今回京都府でも遺児参拝事業が行われていたと確認できました。（後の四市連合事業関係の記事にも見られます。）宇治市、舞鶴市等の四市連合の遺児参拝は一九五三年から始



東上遺児への助役挨拶（1954）

まり、一九五六年まで続きました。

「遺児代表三五人 靖国神社参拝」(第二二号、一九五二・一一・二)

市遺族会では本年も市内各校から遺児代表三十五人(六年男女児該当者全員)を引率、三日に東上して靖国神社秋の大祭に代表参拝する。

「遺児五八人、靖国へ」(京都新聞山城版、一九五三・三・二)

宇治市の地事管内の遺児たちのうち新生生のみ五十八人は各市町村遺族会長、民生主任の引率で府遺児靖国神社参拝旅行に参加、四日

午後六時京都発列車で東

上、六日同社

に参拝して晴

れの対面を終

えた後午前五

時京都市着列

車で帰郷する。

なお同参拝費

用は全額各町

村が負担して

いる。

「六月十四日出発

で靖国神社参拝

宇治市遺児八十九



市役所屋上での壮行会 (1955)

人」(第二〇号、一九五三・六・一)

府下四市連合による今年靖国神社へ遺族、遺児の参拝は六月十四日出発と決定、宇治市では中学の三年、小学校の六年の学童が市、学校側、遺族会長引率のもとに遺児喜界多己夫、松阪和子さん等八十九人が東上、社頭でまぶたの対面することになった。

(第二二号に遺児の作文、六年生十〇人)

「靖国の遺児ら東上参拝」(第三六号、一九五四・七・一)

さる六月九日宇治市の英霊の遺児五十五名は、舞鶴、福知山、綾部の遺児らとともに東上、靖国神社参拝、都内見学等の日程を無事すませて、十二日帰宇した。

「こんなに大きくと遺児靖国の父に報告」(第四六号、一九五五・七・一〇)

宇治市の遺児三十八人はさる二十日池本市長、金井遺族会長等の激励をうけて東上、靖国神社に参拝してまぶたの父に生長を報告して全員無事二十三日帰宇した。

(第四七号に東上遺児の作文集、小学生八人)

「靖国へ遺児参拝」(第五七号、一九五六・六・一〇)

宇治市内遺児四十一名は、市及び遺族会関係附添のもとに今年も来る二十五日夜出発東上し、靖国神社参拝、二十八日帰宇する。

(第五九号に子どもの作文・靖国神社参拝、六年生一名)



遺児の文集

く考えてみると、東京が
見られるよりお父さんの
いらつしやる方がいかに
うれしかった。お父さん
のいらつしやるないさび
しさはとも、東京見物ぐ
らいではあるものではあ
りません。朝早く東京へ
ついてすぐバスで靖国神
社へおまいりしました。
お父さんがこのおやう
に、お父さんとしていら
つしやるのです。お父さん
でも、お父さんではありません。
さびしくは思いました。が、私
はるばるこゝにやつて来て、お父
さんとさげんだことは、きつとお
聞きになつて、「死すよ、がんば
れ」とおつしやつていたに
あつた。お父さんのために
もつとつとさびつて、立派にな
らなければならぬといつづく思
ひました。

十六日の朝は見物にいきました
遊園地ののんびりさんをおまいりし
て、明治神宮をおまいりして銀
道を回つた時は、バスの中でよい
気分になつてうとうとねむりま
した。宮城の中にはいると二重橋
を見せてくださいました。こちら
の橋からみると、とてもうつくし
くいさきとしていました。

僕はそれを見てハッとさえけんか
すに思ひました。遊園地にいるの
なで人間だけがあのさういふ原
子バクダンで使つて、こうし合
ひしたのかふしぎでたまらな
い。

宇治小六年 松本 良隆

高橋小六年 富田 進
まじどをしかつた東京へ行く日
が来ました。今日は日曜日ので、
朝からお母さんが色々といふた
くをして下さいました。二時に市
校前に集合でした。一番ききに市
長さんがお話をされました。次
に田中君が話をされました。
食いつける間にぼくは、お父
さんが今生きていたら、お母
さんも、くろくなくともよいと思
いました。みんなのお話がすむと
みんなにおこすかいを下さいまし
た。

宇治小六年 藤田 弘
いよく靖国神社へ参拝です。
いくつものとりをくぐつてお父
さんのおられる本殿にきました。
そこには大きなお花が咲いてあ
りました。ぼくはあのお花がみ
たら、お父さんが見ておられる
んだなと思ひ、ことばだけでも
おまいりしたいと思ひました。

高橋小六年 森 祐輔
お父さんの中でお母さんやその他
の人々のお話をききました。私
はそのお父さんの元氣な姿が日
にうかひ、今お父さんにあつて
るんだと思ひ、お父さんが出
金で買いただきそのお父さんに
あつたお父さんの姿を見ました。
国会議事堂の堂々としたお
立つて大いなる、こゝで国の政治が
行われるのだ、中に入りその建
物の立派なことは驚きました。

お父さんのことをおもひだし
すと、私はほんとうにかなしくな
りました。お父さん、みななを
しそくに思ひかけていました。私
の三才の時にいれたお父さんの
お写真は、お父さんのお出で
お父さんおんしんしてねむつて
下

お父さんおんしんしてねむつて
下

宇治小六年 松本 良隆

小倉小六年 池本 政嘉
京都駅から汽車にのつて大津ま
でくるとびわこが見えます。み
ななは一せいに立つて見ました。
ヨットがまづ向うをはつてくさ
うかんできました。

高橋小六年 松本 和子
靖国神社に着いた時、こゝにお父
さんがお参りしてあるのかと思
つたら、私は淋しいような悲しい
うな気分になつた。くつをぬぎ

小倉小六年 池本 美代
お父さんのことをおもひだし
すと、私はほんとうにかなしくな
りました。お父さん、みななを
しそくに思ひかけていました。私
の三才の時にいれたお父さんの
お写真は、お父さんのお出で
お父さんおんしんしてねむつて
下

お父さんおんしんしてねむつて
下

お父さんおんしんしてねむつて
下

宇治小六年 松本 良隆

高橋小六年 松本 和子
靖国神社に着いた時、こゝにお父
さんがお参りしてあるのかと思
つたら、私は淋しいような悲しい
うな気分になつた。くつをぬぎ

高橋小六年 松本 和子
靖国神社に着いた時、こゝにお父
さんがお参りしてあるのかと思
つたら、私は淋しいような悲しい
うな気分になつた。くつをぬぎ

小倉小六年 池本 美代
お父さんのことをおもひだし
すと、私はほんとうにかなしくな
りました。お父さん、みななを
しそくに思ひかけていました。私
の三才の時にいれたお父さんの
お写真は、お父さんのお出で
お父さんおんしんしてねむつて
下

お父さんおんしんしてねむつて
下

お父さんおんしんしてねむつて
下

宇治小六年 松本 良隆

宇治市連合婦人会

〈遺児参拝四市連合事業の経過〉

遺児参拝四市連合事業は一九五三年より始まっています。京都新聞（山城版）の記事によると「府遺族会のあつせんによる“府遺児代表靖国神社参拝”から離脱、府下四市独自の立場から実施することに決定した“四市遺児靖国神社参拝”とあるように何らかの理由で四市は京都府の靖国神社遺児参拝から脱退し、独自行動を取ったものと思われます。前記記事に「既報」とあるので、一九五三年の一月～六月までマイクロフィルムを調べましたが、記事が見つかりませんでした。四市連合遺児参拝は後で見る舞鶴市の場合と重ねると一九五六年まで続いたと考えられます。

「遺族援護は同調で 四市遺族会長会」（「市政だより」第一五号、一九五三・二・一）

舞鶴、福知山、綾部、宇治四市の遺族会では遺族の厚生援護について四市共同歩調の題目のもとに宇治須知遺族会長発起で去る十七日宇治市役所市長室で府世話課長、宇治市長、助役等列席、四市遺族会長の初会合を催し遺族厚生援助、就中母子所帯に対する指導、遺児の義務教育の完全実施、市主催の英霊追悼会、遺児の靖国参拝等共通問題について市の支援方申入れる事を協議し、今後必要に応じて四市連絡協議会を催すことを申し合わせた。

「本年度上半期宇治市財政事情公表」（「市政だより」第二九号、一九五三・一二・一）

本年六月に戦没者の遺児約二〇〇名（第二〇号によると八九

人の間違い）を靖国神社に参拝さすため戦没者遺族対策費として二四万円又遺族国庫債権を確保として貸付金七〇万を出資し遺族の厚生に資して居ります。

「遺児九〇人が靖国神社参拝」（京都新聞山城版、一九五三・六・一一）

既報「府遺族会のあつせんによる“府遺児代表靖国神社参拝”から離脱、府下四市独自の立場から実施することに決定した“四市遺児靖国神社参拝”は、いよいよ十四日行われるが、宇治市では同日遺児九十人（中学三年生、小学校六年生）が東上参拝に参加、十七日帰宇の予定で離脱都市の責任と名誉にかけて、この第一回東上を無事故に終わるべく慎重に対策を進めている。

「無事昇殿参拝 府下靖国に遺児」（京都新聞山城府民版、一九五六・六・二七）

宇治市ならびに舞鶴、宮津、福知山、綾部、峰山の府下五市一町の遺児二百八十名を中心とする遺族四百四名の靖国神社参拝の一行は二十六日朝九時二十八分臨時列車で東京駅着、疲れもみせず直ちに昇殿参拝、玉ぐし奉典を行って亡き父の冥福を祈り、午後は国会議事堂を見学、同夜都内四旅館に分宿、東京第一夜の夢を結んだ。きょう二十七日は都内見学して二十八日朝臨時列車で東京発帰着予定。

舞鶴市の靖国神社遺児参拝

五月に調査のため舞鶴市まで遠出をしました。舞鶴市役所で舞

鶴市決算書の精査をしましたが、決算書には「靖国神社遺児参拝」の細目まで出てこず、決算書での検索はだめでした。舞鶴市広報「鶴の百聲 市政だより」(後「舞鶴市政だより」)からは二点の記事しかありませんでしたが、四市連合事業の最初が一九五三年、「最後の団体昇殿参拝」と広報にある一九五六年が最後まで確認できました。このことは前々回の連載で舞鶴東遺族会のS(女性)さんが「一九五六年が遺児参拝の最後の年」とおっしゃっていたことと符合します。以下に京都新聞(丹後版)の記事とあわせて整理します。また、京都府宮津市遺児参拝団が「府の靖国の遺児第三陣二百四十八人」として靖国神社参拝をしたという記事があります。「靖国の父と対面」きのう奥丹の遺児達」(京都新聞丹後版、一九五三・六・一〇) これからも四市連合の遺児参拝が行われた時期に京都府の靖国神社遺児参拝が同時に行われていたことが分かります。

「本市遺児八〇名 靖国神社の父に対面」(「鶴の百聲 市政だより」一九五三年・六・二五日)

わが国の独立一周年を記念して福知山、綾部、宇治、舞鶴の四市共同主催のもとに戦争により父を失った児童を靖国神社に参拝せしめることとなり、小学校六年生児童本人或いは保護者の希望により参拝者を募り、本市では遺児一三三名中八十名が参拝することになり、去る六月十四日西公会堂において壮行会を開き(中略)本市岡野福祉事務所長、小国同東所長、岡井吏員の引率で十二時十二分西舞鶴出発、京都で他の三市の児童と合流し翌十五日午前五時東京着八時に靖国神社参拝をすませ、十六日には東京都内遊覧、宮城を拝観し十

七日正午西舞鶴駅に全員無事に到着した。

「舞鶴の遺児出発 靖国神社参拝の旅へ」(京都新聞両丹版、一九五三・六・一五)

舞鶴市福祉協議会、同遺族会主催の靖国神社参拝壮行会は十四日朝十時から西公会堂で(略)開かれ佐賀根市長はじめ出席者から壮行の言葉をもらって遺児八十人(男四四、女三六)は希望にもえた元気な姿で「行ってきます」と応え関係者多数の見送りをうけて午後零時十五分西舞鶴駅発列車で出発、綾部駅で福知山綾部両市の遺児と合流、午後五時五十八分京都駅発列車で宇治市の遺児とともに東上する。

「靖国神社参拝終わる “一層きばって勉強” 靖国の父に誓う！」(「舞鶴市政だより」一九五六・七・三一)

舞鶴市の靖国の遺児六十五名は、去る六月二十六日から二十八日まで三日間、市福祉事務所荒木所長ら係員の引率で、靖国神社へ最後の団体昇殿参拝を終り全員無事元気で帰ってきました。

「創立六〇周年記念誌 平和の祈り」(舞鶴東遺族会、舞鶴西遺族会)

舞鶴東西遺族会刊行の「創立六〇周年記念誌 平和の祈り」は一昨年に京都府遺族会を訪ねた時に閲覧しました。今回も舞鶴市役所で再見しました。そのなかで唯一遺児参拝について書かれているSさん(男性)の文章には強い感銘を受けました。

Sさんのお父さんは一九四五年一月三十一日にフィリピン・ク

ラーク地区の戦場で戦死されました。一九四四年に加古川で最後の面会をした時が、「最後の面会となり、抱っこされて飛行機のコックピットに座った三歳の記憶には父の姿はありません」と書かれている。Sさんは私の二歳上なのだろう。

「四年生頃まで、残されたアルバムの中の写真と舞中生徒手帳、軍事顧問団で派遣された蒙古の包頭から出されたハガキや手紙に、父親の存在を確かめたものだった。」と記述されており、私の体験と重ねてしまいました。また六年生の時の靖国神社参拝の

経験を次のように書かれる箇所には、共感を覚えました。「六年生での靖国神社参拝に『あなたのお父さんはここに眠っています』との説明に納得することができず、宿となった水道橋から神田まで参加した何人かで一緒に散策し、戦争の痕跡がない東京での復興の力強さを見て新しい時代を感じたものでした。」

その後、お父さんの戦死された経過の詳細を知ることになる後半には胸塞がれる思いがしました。今回の舞鶴調査でSさんの文章を読み直せてよかったですと思います。Sさんは最後に次の様に書

靖国神社参拝終る

一層きばつて勉強

靖国の父に誓う

舞鶴市の靖国の遺児六十五名は、去る六月二十六日から二十八日まで三日間、市福祉事務所荒木所長ら係員四名の引率で、靖国神社へ最後の団体昇殿参拝を終り全無事元気で帰ってきました。ところで靖国の父に対面した一人「余内小学校六年一組の山田洋子さんは、所長あてその感想を次のように寄せてきました。靖国神社参拝についてお礼申し上げます。待ちに待った、靖国神社参拝も終りました。所長様初め皆様方は、おつかれは、出

なかったでしょうか。私はとても元気で今日はいつものように学校に、行きました。東京での、色々のお話を学校でも楽しく遊び時間などにお友達に話しました。小さな時から母に聞かされて待つていました。ただに、初めて靖国神社に参拝して、何かむねがあつくなり、なみだが少しでした。「なおこれからも一層きばつて勉強しよう」とちかいます。『見えないかなー』と心



配していた富士山が、目の前に大きく高く見えましてね、「わー」と汽車

でしたね。……このおくには天皇皇后、西階下も、おられ

がひっくりかえらないかしら……、そんな事はないでしょが……皆は一度に左のまどぎわへよつたのでしたね。一番いんしょうにのこるは……はじめて見る国会議事堂の中……今日まで絵はがきでしか見なかった二重橋……はりを泳ぐ白鳥は又かくべつるのですね一度あいたいです。自動車の波のきやかな町。私はこんなのを知らないのでもよってしまいました。夜のネオンサインの大じかけでめずらしく美しかった事、羽田の空港では、見るまに目の前で飛行機が着陸した。あんな飛行機に一度でもいいからのつて、海のむこうのアメリカや、ウイーンへ、行つてきたいな……と思った。色々の思い出は、たくさんあって、かぎりがなく中学へいっても高校へ行ってもおとなになっても勉強を、するたびに思い出事です……靖国神社境内で参拝遺児一行の記念撮影

かれています。

各自の自立生活により戦闘継続という作戦が各自に武器や食糧の補給が無く、そのほとんどが飢餓と病気に苦しみ倒れ直接の戦闘による戦死より多く、過去の歴史にもしもという仮定はないのですがクラーク基地で敗北した二月一日に白旗が上がればフィリピンで十数万の命が、終戦の決断が一月月早ければ数万の命が救えたのです。

おわりに

これまで大阪府の遺児参拝調査から始めて、京都市、京都府下の宇治市・舞鶴市の遺児参拝と追いかけてきましたが、今後の課題として考えていることをいくつか書いて、まとめに変えます。

一、この間、一九五〇年代の各地の靖国神社遺児参拝の資料（大阪府、茨城県、富山県、島根県等）を集めてきたので、一度整理して分析してみようと思っています。

二、この四月に参加した戦争社会学研究会第七回研究大会で個人報告（一九五〇年代における京都市の靖国神社遺児参拝の実像）をしました。討議のなかで五〇年代の靖国神社遺児参拝についての「国の政策レベルの検討、戦傷病者戦没者遺族等援護法との関連」を調べるといいと指摘を受けました。これを課題としていうと思っています。

三、京都市の遺児参拝の調査後に課題とした戦前の遺児参拝を調べ、戦後の遺児参拝と関連性（連続性）を分析したいと思っています。

前回連載の訂正と追記

前回の連載後、大森龍三さんより内容の誤りの指摘がありましたので、訂正してお詫び申し上げます。今後聞き取りの正確さを期そうと思います。

「中部三十七部隊第二中隊にいた時、例の事故で帰隊するも熱が下がらず衛生室へ診断のために行かされました。その時診断は『軍医』ではなく『衛生兵』です。『伍長』の衛生兵が『異常なし』と判断しました。軍医に診てもらったのは陸軍病院に入ってからです。」

前回、「遺児参拝に学校側の関与があったかどうか？」について、「私の出身校では遺児参拝に関与がなかったとの結論」であると書きましたが、その後「そうは言えない」と考え直しました。五〇年代の遺児参拝旅行に際して、大阪府教育委員会は毎回「戦没者遺児の靖国神社参拝不在間の出席取り扱いについて」という通知を出しています。それには「修学旅行に準ずるよう貴管下各小中学校に対して御配慮願います」とあり、実質公欠扱いだった様です。また私の出身中学校で担任が遺児参拝の事実を知らなかったとしても、それで教員の関与がなかったとは言えないと思います。管理職の関与があったかも知れません。私の当時出身中学校で放課後に教室に集められ、靖国神社遺児参拝の説明があったとうつすらと記憶していますので、それにこだわっていきたいと思います。この問題については結論を「留保」します。

宇治市の靖国神社遺児参拝表（「宇治市政だより」等）

第 1 2 号 (1952/11/1)	遺児代表 3 5 人靖国神社参拝 6 年男女児該当者全員 1 1 月 3 日東上 靖国神社秋の大祭に代表参拝
京都新聞山城版 (1953/3/1)	3 / 4 ~ 7 靖国へ 新中生のみ遺児 5 8 人は府遺児靖国神社参拝旅行に参加
第 2 0 号 (1953/6/1)	6 月 1 4 日出発（~ 1 7）で靖国神社参拝 宇治市遺児 8 9 人 府下 4 市連合による遺族、遺児の参拝 中学校 3 年、小学校 6 年
第 2 2 号 (1953/8/1)	遺児作文集（6 年生 1 0 人）
第 3 6 号 (1954/7/1)	靖国の遺児ら東上参拝 6 / 9 ~ 1 2 宇治市遺児 5 5 名 舞鶴・福知山・綾部と 4 市連合
第 4 6 号 (1955/7/10)	こんなに大きくと遺児靖国の父に報告 6 / 2 0 ~ 2 3 宇治市遺児 3 8 人
第 4 7 号 (1955/8/10)	靖国の父よ、大きくなりました ねがう平和への願い 東上遺児の作文集（小学生 8 人）
第 5 7 号 (1956/6/10)	靖国へ遺児参拝 6 / 2 5 ~ 2 8 宇治市遺児 4 1 名
第 5 9 号 (1956/8/10)	コドモの作文 靖国神社遺児参拝（6 年生 1 名）
第 1 5 号 (1953/2/1)	遺族援護は同調で 4 市遺族会長会（舞鶴・福知山・綾部・宇治市） 1 / 1 7 宇治市役所で遺族の更生援助・英霊追悼会・遺児参拝等
第 2 9 号 (1953/12/1)	本年度上半期宇治市財政事情公表 本年 6 月に戦没者遺児約 2 0 0 名の靖国神社参拝予算 2 4 万円 （* 第 2 0 号では遺児参拝 8 9 人となっている。）
京都新聞山城版 (1953/6/11)	遺児 9 0 人が靖国神社参拝 府遺族会の斡旋による「府遺児代表靖国参拝」から離脱、府下 4 市独自の立場から実施することになった遺児参拝 6 / 1 4 ~ 1 7